

帝人株式会社 ■ コーポレートコミュニケーション部

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館

TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒530-8605 大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

TEL.06-6233-3413 FAX.06-6233-5040

●URL <https://www.teijin.co.jp>

2026年2月19日

バージン樹脂材料を国内で初めて「SuMPO EPD」に登録 サプライチェーン全体でのCO2排出量削減に貢献

帝人株式会社はこのたび、キヤノン株式会社（以下、「キヤノン」）と連携し、一般社団法人サステナブル経営推進機構（以下、「SuMPO」）が運営するSuMPO環境ラベルプログラム(*1)の「SuMPO EPD」に、ポリカーボネート樹脂「パンライト」およびポリカーボネート系アロイ樹脂「マルチロン」を登録しました。バージン樹脂材料分野における「SuMPO EPD」への登録は国内初(*2)です。

(*1) SuMPO が運営・管理を行うLCA（ライフサイクルアセスメント）手法を用いて、製品の環境情報を算定、検証、開示する国際的な枠組み。

(*2) 2026年2月19日現在（帝人調べ）



「パンライト」



「マルチロン」



「SuMPO EPD」

「SuMPO EPD」は、製品の全ライフサイクルステージにわたる環境情報を定量的に開示する仕組みです。このような仕組みの普及が進む中、従来、顧客企業において、樹脂材料に関するCO2排出量の算定には、業界平均の排出係数が用いられており、各企業が独自に取り組む排出削減の成果が反映されにくいという課題がありました。

こうした状況を踏まえ当社は、この課題に取り組むキヤノンと連携して、キヤノン向けの樹脂材料に関するCO2排出量の実データを「SuMPO EPD」に登録しました。

本取り組みを通じて、バージン樹脂材料分野におけるCO2排出量の算定ルールが整備されたことで、サプライヤーが行うCO2排出量削減の努力を算定に反映するための基盤が整い、サプライチェーン全体でのCO2排出量削減の加速が期待されます。

当社は今後も、顧客企業と連携して樹脂材料のCO2排出量に関する実データの登録を進めることで、サプライチェーン全体におけるCO2排出量の削減に貢献します。

【ご参考：「SuMPO EPD」のWEBサイトにおける登録番号】

「パンライト ポリカーボネート樹脂」：SuMPO-EPD-2510-6-1 (<https://ecoleaf-label.jp/epd/2620>)

「マルチロン TN-7280C」：SuMPO-EPD-2510-7-1 (<https://ecoleaf-label.jp/epd/2621>)

以 上

【 報道関係のお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055